

# 東アジア地域国際文化観光圏プロジェクト

## 提案のニーズ・背景

- 我が国の成長戦略において、アジアの中でも成長著しく世界でも圧倒的な市場規模を誇る中国及び韓国を中心とした東アジア市場を取り込むこと、両国との経済交流を強化することは主要な柱の一つ。
- 一方、近年は、歴史問題や国家間関係の悪化等から、両国との交流が停滞し、経済活動にも影を落としている状況。
- しかしながら、中国からは、国家間の外交問題に先立ち、経済交流を活発化することによる関係修復の動きが最近見られるようになってきているところ。

両国との関係修復及びアジア地域の経済交流の強化のためには、**単に経済産業活動的なアプローチだけではなく、長い年月を経て築かれた歴史的な信頼関係を基礎とした文化交流、友好交流を活かしたアプローチも同時に必要**となっている。

## 長崎県は

歴史的に東アジアの玄関口として、古代からの長期に渡り中国、韓国をはじめとした東アジア地域との交流を重ね信頼関係や交流基盤を築いてきた

日本の最西端に位置し、東アジアからの距離が最も近いことから、人流・物流・交流の構築が容易

韓国と共に世界遺産登録を目指すカトリックの教会群、2国間の資産を一体的に世界記憶遺産を目指す朝鮮通信使、中国の近代的国家基礎を築く節目となった辛亥革命を率いた孫文とその活動を支援した日本人(長崎出身者・関係者を含む)の世界への顕彰など、中国や韓国をはじめとした東アジア地域と共同で世界に対して情報発信・顕彰していく共通文化プロジェクトを多く有している

東南アジア諸国に関しては、大航海時代のネットワーク(オランダ東インド会社拠点:バタヴィア、マラッカ、ハノイ、出島、平戸)やキリスト教文化の共有など、古くからの交流の歴史を有している

## プロジェクトの内容

### ○国家間共同文化プロジェクトの強力な推進

- 東アジア諸国との共同文化プロジェクトを国の側面支援の下実施し、国家間の文化友好交流を強化
  - ・教会群の世界遺産登録(日・韓)
  - ・朝鮮通信使の世界記憶遺産登録(日・韓)
  - ・孫文と日本関係支援者の世界顕彰(日・中)
  - ・世界ジオパークの顕彰・活用(日・中・韓)

### ○国家間共同観光誘致の推進

- 歴史的交流基盤を有し、長崎県観光連盟が有効提携する上海、湖北省、釜山の各観光連盟とタイアップし、共通基盤を活かした諸外国への文化顕彰や観光客誘致を実施
- 世界新三大夜景に認定された長崎、モナコ、香港が連携し、夜景の魅力をアジア諸国も含めた世界へ発信し、観光客の誘致を促進

### ○交流拠点施設整備の促進

- 海外からの誘客や交流拡大のための交流拠点の整備を図り、アジアと国内各地を繋げ、観光立国推進に寄与

## 必要な規制改革

- ビザの緩和
- クルーズ客船内限定の日本領海内でのカジノ営業
- CIQ手続き緩和
- 外国航路船舶への観光客や離島住民等の混乗
- 文化財に係る税の免除
- 外国人受入ホテル、交流拠点施設整備に対する投資減税等
- 免税対象商品の拡大 等

- 相互信頼・友好交流の強化
- 経済交流の強化
- 国家間関係正常化

**中長期的な我が国の成長戦略に大きく資する**